

# 老人と海 (The Old Man and the Sea) 原語・日本語字幕付き

観賞日 2026年5月25日 上映時間 86分

## 【概要】

制作 1958年 アメリカ

監督 ジョン・スタージェス

脚本 ピーター・ヴィアテル

原作 アーネスト・ヘミングウェイ『老人と海』

音楽 ディミトリ・ティオムキン

撮影 ジェームズ・ウォン・ハウ

出演 スペンサー・トレーシー (老人、ナレーション)、フェリッペ・パソス (少年)



## 【あらすじ】

メキシコ湾に面した小さな漁村。年老いた漁師のサンチアゴは一人暮らし。不漁が続きここ84日間一匹の釣果もない。相棒の少年は親から言われて別の舟に乗り換えている。しかし、少年は心から老人を敬愛しており、あれこれと老人の世話をやいている。

早朝、少年に見送られた老人はいつものように小さな手漕ぎ舟で漁に出る。昼になり、老人は久々、大物がかかった手ごたえを感じた。漁師歴の長い老人でも今回の獲物はめったにお目にかかれない代物だ。漸く姿を見せた大物の正体は舟よりも大きいマカジキだ。やがて、芽生える奇妙な友情。三日三晩の対一の激闘の末、銚子を打ち込みついに獲物を仕留める。港への帰路、血の匂いを嗅ぎつけたサメが獲物に喰らいつく。港につく頃には獲物は頭と骨だけになっていた。しかし、その頭の大きさから獲物の大きさは充分推測できた。

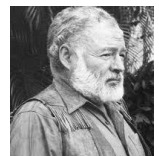
ヘミングウェイのノーベル賞作品の映画化。孤独な老人と少年との交流。

## 【解説】

### ■ポイント

#### ●アーネスト・ヘミングウェイ (1899年~1961年)

- ・20世紀のアメリカを代表する作家。シカゴ郊外の医師の長男として生まれる。高校卒業後、新聞社に入社。赤十字に応募し、第1次世界大戦に参加。この経験を基にした、「武器よさらば」(1929年)で作家としての地位を築く。その後、スペイン内戦に特派員として報道に従事し、「誰がために鐘は鳴る」を執筆する。
- ・戦後、「老人と海」(1952年)で1954年にノーベル文学賞を受賞。この前後から健康を損ね1961年、猟銃自殺する。



#### ●受賞 (1959年第31回アカデミー賞)

3部門にノミネートされ作曲賞を受賞

### ■見どころ

#### ●映画に馴染まない小説を映画化

- ・ピーター・ヴィアテル (夫人はデボラ・カー) の脚本
- ・名優、スペンサー・トレーシーの演技 (ほとんどがトレーシーの一人芝居)
- ・映画の内容に程よくマッチしたディミトリ・ティオムキンの音楽